

なぜ、医療従事者の業務をより効率的な仕組みにしていくことが必要なのでしょうか？

我が国の将来像を展望すると、2040年に向けて、高齢者の人口の伸びは落ち着き、現役世代が急減する社会となります。このような社会においては、「より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現」することが必要となります。

そのため、多様な就労・社会参加を促進することや健康寿命を延ばしていくということをしながらか、より効率的な医療・福祉サービスを提供していける仕組みとしていくことが必要不可欠となってきます。

なぜマイナンバーカードの健康保険証利用により、より良い医療が受けられるようになるのでしょうか？

マイナンバーカードを利用することにより、薬局等で受け取ったお薬の情報や、特定健診結果などを医療機関・薬局で医師等と共有することができます。

初めて行く医療機関や薬局でも、口頭で説明する手間が省けますし、より正確な情報を伝えることができます。

このことにより、より正確な情報に基づく、より良い医療を受けられることにつながります。

また、医療機関や薬局のデジタル化が進み、より効率的に業務が行えるようになることで、事務作業等が縮減し、診察や服薬指導などにより時間を使えるようになることが期待されています。

なぜマイナンバーカードの健康保険証利用が医療従事者の業務効率化に繋がるのでしょうか？

従来の健康保険証で受診すると、健康保険証の情報を手で書き写したり手で入力したりする作業が必要でした。このこと自体が手間ですし、入力ミスなども起こり得ます。

マイナンバーカードの健康保険証利用により、オンラインでデータを取得することができるため、これらの業務が大幅に効率化されます。

また、これまでは、無効となっている保険証に気づくことができないことがありました。そのことが原因で、正しい請求ができず、医療機関や薬局では、電話や手紙で患者に問い合わせるなど、多くの労力を割いていましたし、医療費の未回収という事態にもつながっていました。

マイナンバーカードの健康保険証利用により、直近の医療保険情報を確認できるため、正しい請求を行うことができ、事務作業が効率化されます。

その他にも、医療機関や薬局のデジタル化が進むことで、より効率的に業務が行えるようになることが期待されています。

なぜ資格確認が必要なのでしょうか？

医療機関を受診する際には、保険証を提示いただいています。これは、公的医療保険制度の給付を受けることができるのか、そして、誰が医療費の支払いをするのかを確認するためです。様々な方にご負担いただくことで成り立っている医療保険制度においては、この資格の確認を確実に行うことが重要です。

これまでは、例えば、すでに転職等により加入する保険者が替わっているにもかかわらず以前の健康保険証で受診することで、正しい請求ができず、多くの事務作業が発生していました。

マイナンバーカードの健康保険証利用により、直近の医療保険情報を確認できるようになるため、資格の確認をより確実に行うことができるようになるとともに、事務作業が効率化されることが期待されています。